

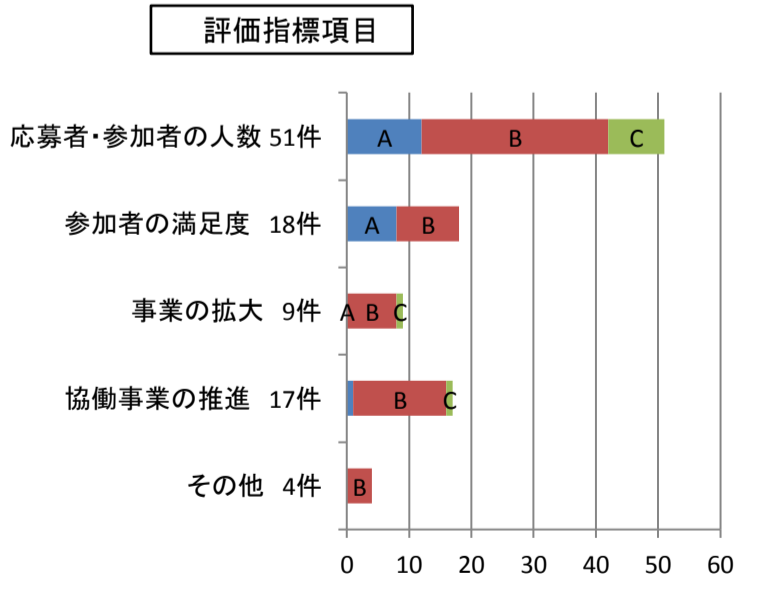
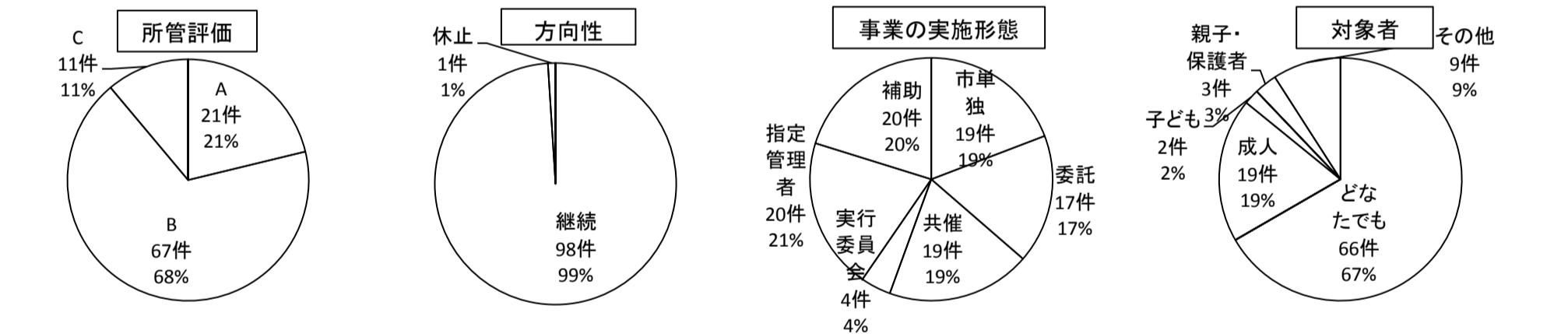
平成28年度八王子市生涯学習関連事業評価シート

基本施策3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進

生涯学習関連事業99件

<p>【施策の方向性】 生涯学習を通じて得た知識や経験が、自己の学びにとどまらず、社会や地域での学習活動に活かされることにより、人とひととの交流が生まれ、その交流が新たな学びや生きがいをもたらすという学習成果の循環をめざします。 この循環の実現のため、ボランティアや指導者の育成、そしてイベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援し、市民団体やNPO法人などと連携・協働した、新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>【現状と課題】 市民が主体の生涯学習社会を実現するため、「生涯学習コーディネーター入門講座」、「アクティブ市民塾」、「市民活動支援講座」などの人材育成講座のほか、手話・点字・傾聴・図書などの各種ボランティア育成講座を実施しています。また、「生涯学習フェスティバル」、「八王子市民スポーツ・レクリエーション大会」などのほか、さまざまなイベントの開催を通して、市民が日頃の成果を発表し交流する場や機会を設けています。行事の実施にあたっては、市民団体やNPO法人などが共催・協力・実行委員会などの形態で協働しています。 今後は、市民のみさんの知識・経験が家庭・学校・地域で活かされるよう、学んだ人とその力を必要としている人とを結び付け、活動の場や機会をより多く作ることが求められています。</p>
---	---

施策の展開	平成28年度の主な取り組み
<p>①人材の育成と活躍の場の提供 40件</p> <p>市民と地域が主体となり、市民との協働による生涯学習社会の実現のため、市民活動を支援・活性化させる各分野のコーディネーター・指導者の育成、ボランティアの養成を推進します。また、学んだ成果をそれぞれの地域で発揮できるよう、市と協働する市民団体の育成と支援に取り組み、市民団体の持つ力をさらに活かした連携・協働による新たな生涯学習のしくみづくりに取り組みます。</p>	<p>【はちおうじ志民塾】【お父さんお帰らないパーティー】は、シニア世代や、定年退職される方を主な対象とした事業であり、市民活動に関する講演や団体の紹介を行うなど、地域で活動するきっかけ作りを行いました。 【たいけん里山しごと】では、幅広い世代を対象に里山の管理体験を経験してもらい、みどりの保安全管理技術の習得をめざすとともに、里山が抱える課題を共有する市民の育成に寄与しました。また、【里山サポーター育成講座】では、講座修了者が市民団体等で活動を続ける人材育成に取り組みました。</p>
<p>②学びの成果を活かす機会の充実 30件</p> <p>文化活動やスポーツ・レクリエーションなど、日頃のさまざまな学習活動の成果を発表する機会を充実させます。こうした行事が成果発表のみにとどまらず、参加した市民の新たな学習活動のきっかけとなるよう、参加者体験型・交流型の行事など学習機会の充実をめざします。</p>	<p>【いちようホールロビーコンサート】では、市民に身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する機会を提供し、市民の学習成果の発表の機会を提供しました。また、いちようホール小ホールを会場にして【ステップアップコンサート】を開催し、ロビーコンサート出演者の活動の場を広げることができました。 【林業体験事業】では、林業にふれあう場を提供し林業に対する理解を深めるためのイベントを開催しました。例えばクリスマスリース作り、シイタケの植菌体験などは目新しさもあり林業に関心を持つきっかけを作りました。</p>
<p>③市民との協働による地域の活性化 29件</p> <p>市民団体、NPO法人、大学、企業、ボランティアなどと連携・協働して啓発イベントや各種のまつりなどの行事を開催します。啓発イベントでは環境、食育、消費生活、国際交流など現代的・地域的な課題に対する市民の関心を喚起し、また「八王子まつり」など大規模な地域行事を通じて、市民交流を活性化させます。</p>	<p>【ダンボールコンポスト講習会】【みんなの町の清掃デー】【みんなの川の清掃デー】【八王子環境フェスティバル】【あったかホールフリーマーケット】【あったかホールまつり】などでは、清掃活動・環境保全を通じて、市民の力は無くてはならないものということに改めて認識し、地域の活性化につながっています。 【都市景観セミナー】では、市民と行政の協働により、八王子景観100選候補地写真を利用した八王子のプロモーション動画をワークショップ形式で作成しました。参加者からのアンケート結果も好評で、楽しみながら八王子の景観への理解が深まりました。 【フラワーフェスティバル由木】では、住民協議会及び町会・自治会が協働して祭典を創り上げ、市民同士の交流の場となりました。</p>



生涯学習審議会評価

①「人材の育成と活躍の場の提供」については、参加人数よりも講座修了者(率)、満足度を事業評価とすべきである。評価Bがほとんどだが、事業の実施そのものを高く評価する。参加人数を評価指標としている事業のうち、参加人数の実績が予定を上回っているにもかかわらずB評価のものがあるが、A評価でもよいのではないか。

②「学びの成果を活かす機会の充実」については、多くの発表の場や成果を生かす機会を設けることができていることを高く評価する。「学習の成果を活かす」活動として、里山体験、林業体験、町・川の清掃、自然環境の整備・保全など、緑のまちづくりを軸にした課題に取り組む学習に特徴が見られる。また支援ボランティアなどの学習成果が活かされた事業実施ができたと思われる。

今後、シニア世代の参加比率がますます増加していくので、新たな学びの場の提供と合わせて、時間や体力的に負担にならない程度のボランティア活動を提案し、気軽に参加しやすい場を多く提供してほしい。

この施策は、行政が主体となって進めなければならないことが多いが、③「市民との協働による地域の活性化」につなげていくことを、あらゆる分野でめざしてほしい。